

## 旭陵留学を経験した先輩方の近況報告をいたします!



第2期生 塚本友里江さん(岩邑中出身) 平成18年夏出発 派遣国:イギリス



塚本友里江さんは立命館大学産業社会学部メディア社会学科を卒業後、共同通信社で記者として活躍されています。以下、塚本さんからの報告を掲載いたします。

\*\*\*\*\*

### Q: まずは近況報告からお願いします。

報道機関の記者をしています。現在は東京で航空業界を担当しており、国内外の航空会社や羽田を中心に空港についての記事を書いています。最近では、1月2日に羽田で起きた航空機衝突事故なども取材しています。2012年に記者になってからは、東日本大震災の被災地の宮城県をふりだしに、埼玉や新潟、長崎など全国各地で仕事をしてきました。長崎では原爆や核軍縮についての取材に取り組み、22年には国際会議「核兵器禁止条約第1回締約国会議」のため、オーストリア・ウィーンに行く機会もあり、被爆者の方々の思いなどをまとめた記事を書きました。



### Q: 旭陵留学が今の自分にどう生きていますか?

異なる立場や意見を持つ人を理解する力や、全く新しい世界に飛び込む勇気を得ることができたと思います。留学では言葉も文化も違う人たちの元で生活をします。うまくいかないこともたくさんありました。しかし、そこでどうしたら馴染めるのか、足りないものは何かなどを考え、工夫して乗り越えるための努力ができたことは大きな財産です。職業柄多くの人たちと会う機会があり、日々から勉強することばかりです。旭陵留学での経験は、多様な人や物事を理解するための粘り強さを与えてくれたと思います。

### Q: 今後の夢や希望について教えてください。

これからも色々な場所に赴いて様々な人に出会い、たくさんの人に知らない世界について知ってもらえるような記事を書きたいです。

ウィーンにある国連事務局前にて 2022年6月

♪次回の旭陵留学ジャーナルでも引き続きOG・OBの方々の近況報告を紹介いたします。お楽しみに♪

